

# 天童中部市長タウンミーティングの提言に対する対応状況

令和8年5月26日開催

- No. 1      **幸福とは何か、市長の考えについて**  
市長公室
- No. 2      **よろず相談ができる場について**  
市長公室、保険給付課、生涯学習課
- No. 3      **住宅関係各種補助金について**  
都市計画課
- No. 4      **天童中部公民館新築の提案について**  
生涯学習課
- No. 5      **天童中部地区の将来について**  
【フリートーク】

# 天童中部市長タウンミーティングの提言に対する対応状況

令和8年5月26日開催

No.	1	標 題	幸福とは何か、市長の考えについて
所管課等		市長公室	
<p>《市民のこえ》</p> <p>「幸福に生きる」とはどのように生きれば幸福と言えるのでしょうか。</p> <p>市政を行う方向性として、市長はどのような姿、形を考えていますか。そして、その考えをどのように取り入れていかれるのか、基本的な考え方をお聞かせください。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>どのように生きるのが幸福なのか、ということは重要なテーマではありますが、その一方で、非常に難しい内容であります。その答えをひとつに絞ることは、個人の価値観などの観点から困難と思われませんが、大まかなところとしまして、安心感を持ちながら互いに支え合い、笑顔で生きることだと考えます。</p> <p>市政運営の方向性としてしましては、昨年度に策定いたしました「第八次天童市総合計画」における市の将来像「笑顔あふれ 幸せひろがる 安心都市」の実現を目指し、多くの市民の皆様が満足することができる最大公約数の施策を選択するとともに、地域の声を聴き取り、誰ひとり取り残されず、安心して幸福に生きられるように事業を進めることを基本的な考えとしています。</p>			

No.	2	標 題	よろず相談ができる場について
所管課等		市長公室、保険給付課、生涯学習課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>いつでも、誰でも、聞きたいことや言いたいことが話せる場所を市で作ってはいかがですか。</p> <p>現代は、あらゆる分野においてもものごとが加速的に進化しており、それについていけない住民が多いのではないのでしょうか。そういった諸々の悩みを話せる場を設けるべきと考えます。</p> <p>例えば、図書館の中にフォーラムのようなものを設け、飲み物を飲みながら様々な分野の知識を持っている方々からアドバイスをもらえるような場を設けてはいかがですか。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>市では、市政についての要望や意見、困りごとなどを相談できる「市民相談室」を市役所1階に開設しています。</p> <p>また、天童中部地区では、60歳以上の方が参加して交流することができる「ことぶき大学」を市立公民館事業として行っています。その他にも、65歳以上の方が気軽に参加することができる、地域カフェ事業「カフェくらつ川」などを天童中部地域社会福祉協議会との共催で開設しています。仲間づくりや楽しく語り合う憩いの場を提供するとともに、それぞれの悩みを語り合ったり、情報交換をしたりする場ともなっていますので、ぜひ御活用ください。</p>			

# 天童中部市長タウンミーティングの提言に対する対応状況

令和8年5月26日開催

現在進めている市立図書館のリノベーションにおいて、新たに市民活動の場やカフェを設置する予定となっていますので、市民の交流の場として活用いただければと思います。

No.	3	標 題	住宅関係各種補助金について
所管課等		都市計画課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>天童市における自然災害の被害は比較的少ないものの、昨今、全国的に太平洋側の南海トラフをはじめ、駿河トラフ、相模トラフ、日本海溝、千島海溝などにおいて、活動が活発化しており、東日本大震災のような災害が再び発生する確率が高まっていると耳にします。</p> <p>天童市においては、土砂災害等の危険個所には、流路やダム、また土留め等の工物が公共事業で整備され、点検も実施されています。</p> <p>地震による家屋等の被害対策には、自己負担により家屋の耐震性を高めるしかありませんが、耐震診断については、平成12年以前に建築された家屋に関して自己負担1割程度で実施してもらえる手厚い制度があります。その利用実績はどのようになっているのでしょうか。</p> <p>また、全世帯が早急に耐震性を確保できるように、耐震診断の自己負担をなくし、全額補助にさせていただくことは可能でしょうか。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>本市では、住宅や建築物の倒壊等の被害を最小限に抑え、それらの耐震性の向上を促すため、平成18年度から木造住宅耐震診断士派遣事業を推進しています。</p> <p>耐震診断士派遣事業は、令和7年度までの20年間で210件の診断実績があり、その内、天童中部地域は55件で、市内で最も多い実績となっています。また、耐震診断後に市内全域で30件の耐震改修工事や減災対策工事が実施され、耐震化が図られているところです。</p> <p>耐震診断の費用は、既存図面の有無により変わりますが、図面がない場合は、診断料247,500円の9割を補助し1割を自己負担に設定しています。</p> <p>自己負担の額については、本事業が私有財産に対する補助であることから、一律1割の負担を求めているところではありますが、南海トラフ地震の発生が想定される地域など、全国的には自己負担を求めない自治体もあるという状況を把握しています。そのため、自己負担の在り方も含めて、耐震化の更なる促進に向け検討を進めていきます。</p>			

No.	4	標 題	天童中部公民館新築の提案について
所管課等		生涯学習課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>天童中部公民館は、昭和55年に建築され、以後、天童中部地域の社会教育を担</p>			

# 天童中部市長タウンミーティングの提言に対する対応状況

令和8年5月26日開催

う大きな役割を果たしてきました。しかし、天童市の中央に位置する公民館にもかかわらず、建物と機能の老朽化が著しく、暗いイメージがあることから、活発な利用がなされず、若者に関してはその存在すら知らないことに繋がっているのではないかと考えられます。また、隣接する総合福祉センター、農業センター、勤労青少年ホーム、それぞれの役割も明確にわからない者も少なくありません。

昨今、地方自治体の箱物の統合や縮小または廃止を検討及び実施したとする記事を見受けます。これは、人口減少・少子高齢化が進み、財源の確保が難しくなる将来を見据えた方策であるとのこと。結果として、ある自治体では統合によってその施設が遠くとも利用者数が伸びた事例もあるとのこと。

当市でも、建物の老朽化等が進む天童中部公民館と農業センターを統合した新たな施設を検討すべき時期ではないでしょうか。

前述の事例のように、新築することにより活性化が図られ、新たな事業の展開及び利用者拡大が図られると思料します。さらに、敷地の有効活用によって駐車場も利用しやすくなると思います。御検討をお願いします。

## <回答及び対応状況>

今後の公共施設の整備においては、人口減少社会に合わせて既存施設を統廃合していくことも必要であり、財政面においても、新たな施設を整備するよりも耐震基準を満たしている既存施設を大規模改修し、新たな価値を付け加えて運用していくことが有利であると考えられます。

上記の考えを基本とし、天童中部公民館につきましても新築ではなく、既存施設の改修を行うことにより、利便性の向上が可能であると考えています。今後、地域の皆様からの御意見も伺いながら検討を進めていきます。